

So CITY

市報そお

2026

10

No.256

特集

未来へ残す、曾於市の記憶。

— 市史編さん、令和12年の刊行に向けて —



7月8日

曾於市の未来をみんなで考える



曾於高校商業科3年生・市商工会青年部・市ガイド・ボランティア会など約60名が参加し、街づくりについて学びました。河野公彦さんの講演後、市の地域資源を生かしたアイデアをグループで話し合い、たくさんの意見が出されました。

7月31日・8月7日・14日・21日

夏休みの思い出にソーセージ作り



夏休みソーセージ作り体験教室がナンチク・肉の蔵で開催され、28組82名が参加しました。畜産のまちならではの体験を親子で楽しみ、参加した子ども49名全員に修了証が手渡されました。

8月9日

曾於支部消防操法大会を開催



ポンプ車の部 優勝 大隅方面隊月野分団

曾於支部消防操法大会に、曾於市消防団から市大会を勝ち上がった4分団が出場しました。日頃の訓練の成果を発揮し息の合った操法を披露した結果、ポンプ車の部では大隅方面隊月野分団が優勝、小型ポンプの部では大隅方面隊南分団が優勝を収め、両部門で支部大会の栄冠を手に入れました。ポンプ車の部で優勝を果たした大隅方面隊月野分団は鹿児島県消防操法大会に出場し、見事5位入賞という素晴らしい成績を収めました。

6月21日

小戸池大掃除大作戦!



今年で9回目を迎える檣神社境内にある小戸池の大掃除ボランティア活動が行われました。市内外から多くの参加者が集まり、池の水草を除去しました。地域の大切な景観を守るため、清掃に汗を流しました。

7月30日

入浴施設の在り方を検討しています



市内3か所ある入浴施設の健全な経営に向け、営業時間や入浴料金などの見直しについて検討しています。利用者や各種団体の代表からなる在り方検討委員会を開催し、10月までに助言をまとめる予定です。



小型ポンプの部 優勝 大隅方面隊南分団

06 特集

未来へ残す、曾於市の記憶。

—市史編さん、令和12年の刊行に向けて—

- 10 図書館だより
- 11 教育委員会だより
- 12 昔々のそお市
- 13 きらり男女のコーナー
- 14 実は隣のスゴイ人
- 16 消費生活トラブル・体操教室
- 17 健康なび・相談場所の開設
- 18 部活動の地域展開にご協力ください
- 19 そおと協力隊日記・よろず支援拠点・手話
- 20 PICK UP
- 24 情報掲示板
- 29 プレゼントコーナー・お便り
- 30 税チャンネル・人の動き・医療費の状況
- 31 国民年金のはなし
- 32 子育て支援センター
マイナンバーカード休日申請・交付
子牛せり市結果
- 33 カレンダー
- 34 戸籍の窓
- 35 休日当番医・薬局

今月の表紙



市民の皆さんから寄せられた昔の写真や資料を撮影。特集では写真や資料に記録された記憶をたどりながら、未来へつなぐ市史編纂の取り組みを紹介します。

7月19日

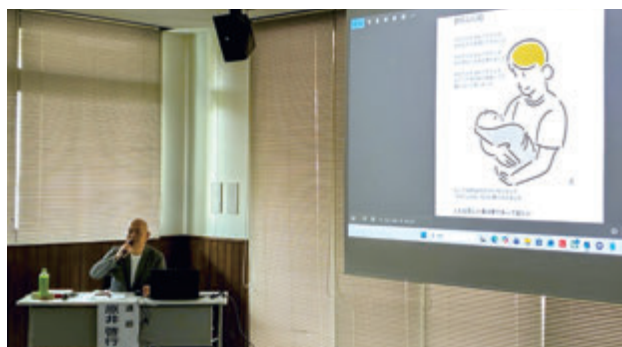
灯籠と花火で彩る夏の夜



櫛神社で六月燈 2026 が開催されました。篠笛や和太鼓の演奏をはじめ、歌や書道パフォーマンスなども行われ会場は盛り上がりました。参道には色とりどりの灯籠が並び、最後は打上花火で夏の夜を彩りました。

8月6日

交通安全講演会を開催



交通事故で息子を亡くされた原井啓行さんを招き、交通安全講演会を開催しました。最愛の家族を失った悲しみや命の大切さについて語り、参加者は交通事故の悲惨さと命の尊さを考える機会となりました。

8月7日

市内の戦争遺跡を訪ねるバスツアーを開催



市内の戦争遺跡を訪れるバスツアーを曾於市観光協会が実施しました。市内外からの参加者は大隅町の芙蓉之塔や地下発電所跡を訪れ、戦争の時代を物語る生きた教材を見学しました。

8月18日

被災地での任務を終え活動を報告



大隅曾於地区消防組合の緊急消防援助隊派遣隊が熊本地震にともなう任務を終え、市長へ被災地での活動状況や現地で感じたことを報告しました。今後も災害に備え、住民の安心・安全を守るため、消防体制の充実・強化に努めます。

8月25日

企業版ふるさと納税に感謝状を贈呈



鹿児島市の株式会社タカラプランニングから企業版ふるさと納税制度を活用した寄附がありました。持続可能な未来を支える基盤を整える事業に活用します。

8月31日

企業版ふるさと納税に感謝状を贈呈



鹿児島市の株式会社明興テクノスから企業版ふるさと納税制度を活用した寄附がありました。持続可能な未来を支える基盤を整える事業に活用します。

8月10日

企業版ふるさと納税に感謝状を贈呈



宮崎市の株式会社山崎紙源センターから企業版ふるさと納税制度を活用した寄附がありました。持続可能な未来を支える基盤を整える事業に活用します。

8月25日

長年の道路愛護活動がたたえられ表彰



鹿児島県の道路愛護に係る表彰状伝達式が市役所で行われ、光神校区社会福祉協議会が県知事表彰を受賞しました。同協議会は、国道10号と県道501号周辺で清掃や花壇整備などの美化活動を長年続けています。

8月29日

都城末吉・曾於志布志道路の早期事業化へ



都城末吉道路・曾於志布志道路建設促進合同決起大会が末吉総合センターで開催され約750人が参加しました。国や県に対する早期事業化に向けた大会決議(案)が採択されました。

8月25日

新しいALT シェニールさんが着任



トリニダード・トバゴから新しい ALT として、シェニールさんが赴任しました。「末吉中・末吉小・檣小・光神小・岩北小・岩南小の担当になりますので、皆さん気軽に声をかけてください」と話しました。

8月26日

少年柔道「形」で全国大会へ



少年柔道「形」競技会が7月26日、西原商会アリーナで開催され、檣小6年三枝汰志さん(右・取り)・末吉小6年和田龍心さん(左・受け)が優勝。11月に東京都で開催される全国大会出場を前に市長へ優勝報告を行いました。

9月1日

選挙啓発に尽力 澤委員長が特別表彰



現在も選挙管理委員長を務め、委員長として3期12年にわたり選挙行政に尽力してきた澤律雄さんが、全国市区選挙管理委員会連合会から特別表彰を受賞されました。長年にわたる選挙啓発活動などの功労が認められたものです。

8月18日

決算などの監査意見書を提出



曾於市監査委員から市へ決算審査意見書が提出されました。この意見書は令和7年度の決算などが適正に執行されているか、審査した結果を報告するものです。

8月26日

弥五郎どん祭りが記念切手に!



日本郵便九州支社が、弥五郎どん祭りの国指定重要無形民俗文化財記念切手を9月1日から販売開始しました。これを記念し市長と弥五郎どん祭り保存会への贈呈式が行われました。切手を通して祭りの魅力が発信されます。

8月31日

悠久の森がフォトドラに認定



写真を撮るために出かけてみたくなる場所を発信する「かごしまフォトドライブプロジェクト」に悠久の森が認定されました。豊かな自然や四季折々の美しい景観が評価され、市内では5か所目の認定となりました。

特集

未来へ残す、曾於市の記憶。

— 市史編さん、令和12年の刊行に向けて —

曾於市はどんな歴史を歩んで今のまちになったのでしょうか。現在、市では令和12年の市史刊行に向けて、古文書や古写真などの資料を集め、調査・研究を進めています。市史編纂の「いま」を知り、曾於市の「これまで」をたどってみませんか。



市史編さんの スケジュール

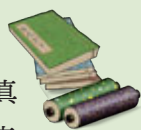
市の歴史を未来へ残すため、令和6年度～14年度までの9年間で市史の編纂を進めています。

令和6年（2024）

市史編纂スタート
・市史編纂委員会、
編集委員会を設置

令和7年（2025）

資料収集
・古文書や古写真
などの収集、調査



令和8年（2026）

調査・研究
・資料収集
・専門部会による調査



令和9年～10年
（2027～2028）

原稿作成・入稿
・補足調査
・原稿作成



令和11年（2029）

刊行準備
・校正、製本
・刊行案内



令和12年（2030）

市史刊行！



令和14年（2032）
市史簡易版を刊行

曾於市誕生25年！



曾於市史編纂副委員長・
曾於市史編集委員
勝目 興郎さん

曾於市誕生以降、初めて市史が編纂されることになり、市制施行25周年にあわせて刊行されます。私は地区（校区）史を担当していますが、特に昭和・平成時代を残していくのは最後のチャンスだと思っています。今では当たり前となっている風景や地域の伝統、市の自慢などをどれだけ残していけるかが大切です。

調査を進める中で、政治・商工業・農業・文化など、幅広い分野で今まで知らなかった「人」を見つけることができます。行動力があり時代に即した新しい取り組みをしている人が多いと感じています。また皆さんが持っている昔の写真や資料も貴重です。特に生活風景を表すような資料があれば、ぜひ提供してほしいです。例えば物価が分かる書類や服装、子どもの遊び方、冠婚葬祭など当時の暮らしが分かるものです。

市史の編集では誰にでも分かりやすいように言葉を選び、写真や地図なども工夫して配置していきます。皆さんに「おもしろかった」「いろんなことを知れた」と感じてもらい、市への誇りを持ってもらえるような一冊になってほしいです。

曾於市誕生 までの変遷

末吉町・大隅町・財部町の3町が合併し曾於市が誕生しました。
では現在の曾於市ができるまでに、まちはどのような変化をたどってきたのでしょうか。

江戸時代末期 3つの「郷」からはじまった

財部郷・末吉郷・恒吉郷 ※月野は志布志郷、荒谷は大崎郷に含まれていました。

明治時代 「郷」から「村」へ

末吉郷から岩川が独立し、岩川郷が創設。(鹿児島県下では最後に設置された郷)

その後、明治22年に町村制施行され財部村・末吉村・岩川村・月野村・野方村などが誕生



明治22年(1889) 当時の行政区分

大正～昭和 町制施行により「町」が生まれる

大正11年 末吉町、大正13年 岩川町、大正15年 財部町、昭和30年 岩川町・恒吉村・月野村が合併し大隅町が誕生

平成 平成の大合併で3つの町が一つに

平成の大合併を背景に、曾於地域でも市町村合併に向けた動きが始まりました。平成13年には曾於郡内の8町による意見交換が行われ、翌年には合併について調査・研究する曾於地域市町村合併調査研究会が設立されました。その後、各町で将来のまちのあり方について検討が進められ、平成15年1月、末吉町と大隅町による任意合併協議会が設置されました。同年3月には財部町の参加が決まり、4月11日に「曾於北部合併協議会」が設置。3町による本格的な合併協議が始まりました。協議会では、約2年間にわたり全27回の協議を重ね、平成16年10月28日には合併協定調印式が行われました。そして平成17年7月1日、末吉町・大隅町・財部町が合併し、曾於市が誕生しました。



第12回曾於北部合併協議会で
新市名が曾於市に決定
(平成16年5月27日)

「曾於」の由来知ってる？

「曾於」(そお)という地名は、古代この一帯に住んでいたとされる「熊襲(くまそ)」の「そ」に由来すると考えられています。和銅6年(713)、国・郡・郷の地名は漢字二字で表記するよう命令が出され、「曾於」と呼ばれるようになりました。古代から続く古い地名が現在の市名「曾於市」に受け継がれた形になっています。ちなみに合併協議当時、新市名称募集の際には1,761点の応募があり、曾於市のほかに「曾於和市」「財大吉市」「大曾於市」「南九州市」などの候補が挙がっていました。



昔と今

道路や建物など、まちの姿は変わりましたが、今も地域の中心として人々の暮らしを支えています。



末吉町松島屋百貨店付近（昭和 38 年頃）



今の風景



大隅町本町（昭和 39 年頃）



今の風景



財部町本通り（昭和 40 年代）



今の風景



生涯学習課 文化財・市史編纂室
室長 加塩 英樹さん

現在、市史編纂は編纂委員長（教育長）を中心に編纂体制や執筆者のメンバーがほぼ固まり、資料収集や現地調査を進めています。先人達の記録や古写真、言い伝え、史跡や伝承地の情報、少し前の町の様子など、幅広い資料を集めています。

特に印象に残っているのが、昨年秋に財部町の願成寺で出会った仏像です。永享 12 年（1440）に造立された大変古いもので、室町時代中期の仏像と確認できるものとしては市内唯一。「こんな凄いものが曾於市にあるんだ」と衝撃を受けました。

市史編纂の仕事は「すべてが大変」と感じる一方、埋もれていた歴史や資料に出会える面白さがあります。地域の大切な記録や記憶を見極め、次の世代に残していくため、市民の皆さんからの情報提供が欠かせません。古い写真や記録、地域に伝わる話など、どんな情報でも構いませんのでお気軽にお問い合わせください。

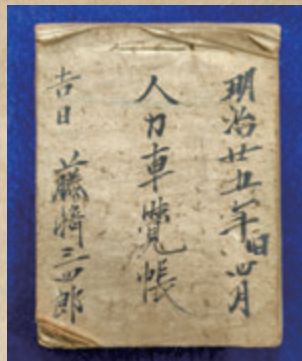
市史をつくる、大切な資料

古写真や古文書、日記、記念誌など、市の歴史を伝えるさまざまな資料が寄せられています。



昭和 55 年部落会長・
昭和 42 年度駐在員ノート
(現 西国原自治会)

集落の代表者(現在でいう自治会長)が持っていたノート。末吉町役場の組織図や庁舎図なども掲載されています。



人力車覚帳
(明治 25 年)

岩川で車夫(人力車を引く仕事)をしていた人物の帳簿で、行き先や車賃が記録されています。当時の岩川から都城まで、35～60銭程度だったことが記されています。



桐原の風景
(昭和 33～34 年頃)

桐原の集落を見下ろす丘(現 きいわらん丘)から撮ったもの。当時は高千穂がよく見えていたようです。

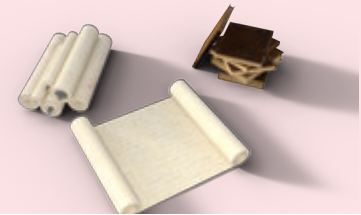
あなたの家にも「歴史」が眠っているかもしれません

写真や記録は、未来の曾於市にとってかけがえのない宝物です。
資料の提供にご協力をお願いします。

- ▶ 古写真(昔の街並み、お祭りや地域の行事の様子など)
- ▶ 日記・手紙
- ▶ 地域や学校などで刊行された記念誌
- ▶ 実物資料 など



市史編さんの
情報はこちら



【お問い合わせ】

生涯学習課 文化財・市史編纂室
☎ 0986-76-8873

歴史講演会を開催します

市の歴史を写真などで振り返る
パネル巡回展も同時開催!

市史編纂の執筆を務める専門家をお招きし、曾於市の歴史を紐解く 2 本立ての講演会です。

講演① 午後 1 時 30 分～
遺跡が語る縄文時代の曾於 — 引き継がれる命と経験 —
講師 前迫 亮一 氏

講演② 午後 3 時～
中世曾於市域の政治的・軍事的 position
講師 新名 一仁 氏

日 時 11 月 21 日(土) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 20 分(午後 1 時受付開始)

会 場 末吉中央公民館

定 員 先着 70 名 ※要事前申し込み 参加費 無料

申込方法 Google フォーム・電話・メールのいずれかで申し込み
※申込締切 11 月 13 日(金)

生涯学習課 文化財・市史編纂室
☎ 0986-76-8873
メール o-syakyou@city.soo.lg.jp



申し込みフォーム
はこちら



> 秋の読書週間

10月27日(火)～11月9日(月) は第80回読書週間です。市立図書館では読書週間にちなんで、利用者参加型「読書ゆうびん」やおはなし会などの楽しいイベントを開催します。他にも読書の秋に読んでもらいたい特集コーナーを各館設置していますので、ぜひご来館ください。

イベント情報

読書ゆうびん 10月27日(火)～11月8日(日)
「この本面白かった」「誰かに読んでほしい」そんなおすすめ本をメッセージカードに書いてポストに投函してみませんか? ※全館で開催

映画上映会 11月1日(日)
作品:「掘る女 縄文人の落とし物」(111分間)
時間:1回目 午前10時～、2回目 午後2時～
場所:末吉本館 2F 夢学習館

おはなし会

10月31日(土) 午前11時～ 財部分館えほんの部屋
11月3日(火) 午前11時～ 末吉本館前広場

ボードゲーム

11月8日(日) 午後1時30分～ 末吉本館おとぎの部屋

ブックリサイクル ※全館で開催

期間:10月27日(火)～11月8日(日)

> イベント

- 映画上映会 10月4日(日) 末吉本館2階夢学習館
「映画すみっコぐらし 青い月夜のまほうのコ」
上映開始:午前10時～、午後2時～ (2回上映)
上映時間:64分間

その他イベント

- ちゃいはな(末吉本館)
10月3・10・17・24・31日(土) 午後2時～
絵本の読み聞かせや手あそび歌



おすすめ案内

本館



断絶!

堺屋太一
文藝春秋



いじっぱりのトッペ

エステル・ファン・デン・ベルフ
BL出版

大隅



がんばらない家事やりた
いことは全部やる!ラクし
て整う「ごきげん」ルール
くう
かんき出版



心に刺さる!一日一
言 高校生が創作し
た金言・名言 366
永野恒雄
同時代社

財部



私の幸福論
宇野千代人生座談
宇野千代
文藝春秋



12歳までに読みたい
きみの心を強く
する名作 103
斉藤孝
扶桑社